

2022年4月から施行になったプラスチック資源循環法。この法律では、コンビニエンスストアなどに対して、無料で提供している使い捨てプラスチック製品の削減目標を設定し、使用量を減らすことを求めている。例えばプラスチック製のスプーンなどに関する今後の対応が話題になっている。

また、3R+リニューアブル(Renewable)という基本原則を打ち出したことでも注目された。3Rとは、リデュース(Reduce)・リユース(Reuse)・リサイクル(Recycle)の総称。リデュースは無駄なゴミを減らす、リユースは繰り返し使用する、リサイクルはゴミを資源として再利用する。そして、リニューアブルとは再生可能な資源に変えていくことを指している。プラスチック製のストローを紙のものに変更していくような取り組みのことだ。

Fukuvalueで 行き場を失った廃棄物の 再価値化も

フクビ化学工業では、3R+

リニューアブルにリバリュー(Revalue..再価値化)を加えることで、プラスチック製品などの環境価値を最大化しようと試みている。

プラスチック製の建築資材の製造・販売などを手掛ける同社は、業界でもトップクラスの樹脂加工に関する技術力を誇る。建築資材のなかにはプラスチック製のものも多いだけに、自然と共存する樹脂製品のあり方を具現化することが強く求められている。

そこで同社では、2022年8月に環境配慮型商品ブランド「Fukuvalue」(フクバリュー)をスタートさせた。環境ブランドの認証基準を設定し、全ての新商品について企画・開発の段階で環境性能を厳正に評価する仕組みを整えたのだ。そして、認証基準には先述の3R+リニューアブル、さらにはリバリューの考え方を盛り込んでいる。

例えば、工場廃材を有効活用したフリーアクセスフロアやプラスチック廃材を利用した瓦棧は、リデュースやリサイクルの推進につながる。また、分解や分別が行いやすい製品設計を導

4R+再価値化(=5R)で 地球を、クマなく想う。

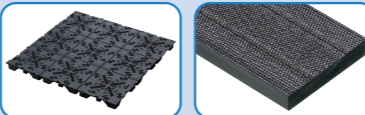
Reduce Reuse Recycle Renewable
そして Revalue

脱炭素社会の実現に向けて、有限な資源を徹底的に有効利用することは不可欠である。こうしたなかでプラスチック製の建材などを製造・販売するフクビ化学工業では、一歩踏み込んだ資源の循環利用を推し進めている。



01 「作って、使う」の先まで考えて リサイクルをつなぐ ものづくり

リサイクルにつながる商品



工場廃材を有効活用したフリーアクセスフロア クリーンOAフロア TNシリーズ
プラスチック廃材を性能改良し製造した瓦棧 エコランパー

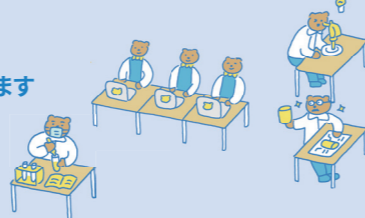
02 地球を想う、やさしい素材 バイオマス材を使った ものづくり

バイオマス材を使用した商品



間伐材を使った再生人工木 PLUSWOOD
「紙」と「とうもろこし(澱粉)」を使用したエコ断熱材 フクフォームECO

03 素材から、クマなく見つめ直します 製品設計の工夫で 「減らす」を追求



04 行き先を失った資源の 新たな可能性をクマなく探る 廃棄物の 新たな価値づくり

Revalue(再価値化)した商品



海洋プラスチックごみ「漁網」を再利用した乾式二重床 環境配慮型フリーフロア C Pシリーズ
ビニルクロス廃材を有効活用した床衝撃音遮断材 サイレントドロップ

入し、将来的に廃棄段階になっ
た際にもリサイクルが行いやす
いよう配慮している。

バイオマス材を使うことでリ
ニューアブルも図っているほ
か、製品設計の段階で徹底的に
使用する素材の見直しなどを実
践している。

さらには、海洋プラスチック
ゴミで問題となっている漁網や
車のエアバッグ、結束バンドな
どからリサイクルされた環境配

慮性のある再生ナイロンを原材
料に用いる。

例えば、乾式二重床の主力製
品であるフリーフロアC Pシ
リーズでは、一部の製品でポ
ルト原材料を再生ナイロンに変
更。また、工場で出る壁紙のビ
ニルクロス廃材などの行き場
を失った資源のリバリューを行
う。

ちなみに、フクビ化学工業の
シンボルマークはクマ。創業者

の八木熊吉氏に由来したもの
だ。

創業以来、社会に求められる
製品を世の中に送り出し、日本
を代表する開発型のプラスチック
メーカーにまで成長した同社
だが、「地球を、クマなく想う。」
のために、未来の地球の姿を想い、
今できることを推し進めようと
している。その羅針盤的な存在

こそが、Fukuvalueで
ある。

INFORMATION フクビ化学工業株式会社
<https://www.fukuvi.co.jp/>
FUKUVI

